

日本に来て思うこと

文学部中国文学講座

趙 品 莉

重慶にあった父の家が抗日戦争中に日本軍の爆撃を受け、家を壊され、船を破壊され破産してしまったことを、私はいつも父から聞かされてきました。そのため長い間、私は日本に対して悪い印象をもっていました。しかし、私は現在の日本の驚くべき発展に心を引かれて、広島に学習にきました。

日本に来た当初、私は幼いころ抗日戦争の映画で見た残酷な日本軍人のイメージを持っていたため、日本人が怖かったのですが、しかし、現在では私の日本人に対するこのような印象は完全に改められました。なぜなら、私は彼ら日本人の友情、豊かな人情を感じ、多くの人達の手助けを受けたからです。例えば私の浴室は、家主が何十万も費やして修繕してくださったし、また私の生活道具や学習用具はほとんどすべて、日本人から送られたものです。指導教授は穏やかで親しみやすく、順序だてて私を善導してください、学生達と一緒にいつも私を助けてくださいます。また私にとって思いがけなかったことは、日本人が平和を愛していることでした。多くの中国人は日本人は戦争が好きだと思っています。しかし私が日本の友人と話をしたとき、彼らは戦争、特に日中戦争に話が及ぶと黯然として色を失い、終には誠実な涙を見せたことも

ハロイコ
— 今日！你好

ありました。私はそれを終生忘れないでしょう。また少し前に平和公園に行ったとき、数千人の人々が原爆で被害を受けた人に対して、哀悼の意を表しているのを見ました。私たちが中国人の印象とは違い、日本人はこのように平和を愛しているのです。私は日本と中国の交流の中で、戦争が作り出した心理的隔絶は淡くなり、和らげられているのを感じます。



歓迎会にて



太極劍の練習に励む

日本の国土は狭く資源に乏しいのに、何に

よって急速に経済大国となったのでしょうか。私はその主な原因は、自分に厳しく、発奮すること、また強烈な民族全体意識にあると感じました。

すべての日本人はせっせと働き、何事にもまじめに取り組んで、社会の富を作り出しています。彼らは自分に対して厳しいのです。また日本の学生は社会と同一の風格によって成長しています。彼らは意欲があり、活力に満ちあふれ、努力して学習します。暑い夏休みにも、先生と学生は共に研究を続け、授業をしています。それはまさしく寝食を忘れてのものです。

強烈な民族全体意識は、日本のすべての領域にまで浸透しており、街やバスの中でも、秩序を遵守し、すべて整然としています。そこには全体的な安定感が感じられます。日本民族は、とても強い凝集力、内部に集中された力を備えており、集団意識の優れた国家なのです。現在彼らは戦争中に見られたような服従と執着の精神を、物や富を作り出すことに用い、それとても早く富強となったのではないのでしょうか。

また世界の先進科学、文化知識を広く吸収することに長けているのが、日本の発展の主な原因の一つです。これは、中国人も考慮す

べきことでしょう。

しかし、日本はアメリカを崇拜するところがあり、特に青年のなかには盲目的に崇拜する者もいます。アメリカの優れているところは、学習すべきですが、しかし国際交流が頻繁になされる競争世界の中では、目は広く放たねばなりません。現在の中国は、比較的遅れてはおりますが、民族の内部に包み隠された大切な伝統遺産と知恵と潜在能力を、日本人はまだそれほど理解していません。たとえばある日本人の友人は、二十年来、毎日鼻血が出て困っており、西洋医学では治せませんでした。しかし私が簡単な気功と漢方の理論を用いて一度診ただけで、次第に良くなってきています。これは必ずしも全てを西洋から学ぶ必要のないことを示しております。特に近年、中国では、長らく封鎖されていた少なからざる領域が開放され、学者や専門家たちは、中国の伝統と民間の大切な文化遺産に対して、認識を新たにし、研究を続けています。例えば気功の効用については、その成果をアメリカも重視しているのです。

日本と中国とは、風俗・習慣・文化技術・哲学思想の方面で、密接な関係があります。もしさらに中国の研究を進めれば、自らの発展に有益であろうと思います。私は日中両国の真の友好が継続し、その中で互いに学びあうことによって、両国民に幸福をもたらし、全人類に幸福がもたらされることを切に希望しています。